

## 第1回 ナイチンゲールと統計のつながり

「近代看護教育の生みの親」として有名なフロレンス・ナイチンゲール（1820-1910）。  
彼女が統計と深いつながりがあることを御存じでしょうか？

イギリスの看護師で、クリミア戦争で負傷した兵士を看護した…ということくらいは聞いたことがあると思います。

しかし、彼女の功績はそれだけでは終わりません。実は、イギリスの王立統計協会や米  
国統計学会の会員にも選ばれています。

その裏にはこんな活躍がありました。

ナイチンゲールが赴いたクリミア戦争では多くの兵士が病院に運ばれ、その死亡率はと  
ても高いものでした。

彼女は統計の知識を用いて、戦死者・傷病者のデータを分析し、彼らの多くが戦闘で受  
けた傷そのものではなく、負傷後の治療や病院の衛生状況の不十分さが原因で死亡したこ  
とを明らかにしました。

つまり、衛生状況の改善により死亡率の引下げが可能だと分かったのです。

そこで彼女は、統計になじみの薄い国会議員や役人にも伝わりやすいように、当時とし  
ては珍しかったグラフを用いて視覚的に訴えました。

その結果、衛生状況は改善され、死者数は激減しました。

統計やグラフの力を感じていただけるエピソードのひとつかと思いましたが、コラム  
の第1回目として御紹介しました。